

"Road to 8hours" 300km SUZUKA 300km

"Road to 8hours" 鈴鹿300km耐久ロードレース

2008
6/7 予選 SAT. • 8 決勝 SUN.

鈴鹿サーキット 国際レーシングコース
1周 5.821km

- 大会名称 : "Road to 8hours" 鈴鹿300km耐久ロードレース
- 同日開催 : 同日開催 : Buell Battle Field / 鈴鹿 ST600 100kmロードレース
- 主催 : 株式会社 モビリティランド
- 公認 : 国際モーターサイクリズム連盟(FIM) / 財団法人 日本モーターサイクルスポーツ協会(MFJ)

**今年の鈴鹿300kmは世界からトップライダーたちが大挙襲来！
 去年の8耐覇者ヨシムラは加賀山(SBK)、渡辺篤(BSB)が帰国参戦！
 必勝体制のHonda勢は、去年の300kmウィナー清成(SBK)とJ・レイ(WSS)に加え、
 L・ハスラム(BSB)、そしてC・チェカ(SBK)を投入！！世界の走りを見逃すな！**



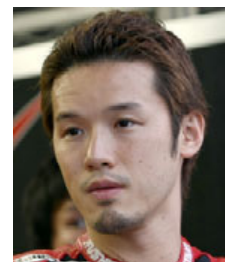
去年の8耐で優勝したヨシムラの加賀山就臣(左)と秋吉耕佑(右)。(去年の鈴鹿8耐表彰台にて)



去年の300kmで優勝したJ・レイ(左)と清成龍一(右)。(去年の鈴鹿300km表彰台にて)



去年の8耐で堂々の2位獲得のC・チェカが、今年は300kmから登場！このまま8耐も！？



今年からイギリスでBSBを戦う渡辺篤も、鈴鹿300kmに向けて帰国する

「コカ・コーラ ゼロ」鈴鹿8耐第30回記念大会を制したヨシムラからは、秋吉耕佑と世界スーパーバイク選手権(SBK)を戦う加賀山就臣のペアという昨年の優勝コンビが復活して、この鈴鹿300kmに参戦する。ヨシムラ初の8耐連覇に向けて気合十分だ。ヨシムラはもう1台、去年の全日本JSB1000チャンピオンで、今年からイギリス・スーパーバイク(BSB)を戦う渡辺篤が帰国し、SRS-J(鈴鹿サーキットレーシングスクール ジュニア)一期生の酒井大作とのチームで、こちらも優勝を虎視眈々と狙う。

そして、さらに注目を集めるのが、Honda系チームの戦略だ。特にHondaの主力チームである「DREAM Honda Racing Team」は、今年は3年ぶりの8耐優勝の奪還に向けて、必勝体制でこの300kmに臨む。今大会では、「DREAM Honda Racing Team 11」には今年からSBKにステップアップし活躍する清成龍一と、同じくSBKのHonda勢の中で最も好成績を挙げているカルロス・チェカが組むという超強力体制。また、「DREAM Honda Racing Team 33」には、世界スーパースポーツ600選手権(WSS)を戦うジョナサン・レイと、BSBで活躍するレオン・ハスラムという、こちらも強力ペア。チェカは去年の8耐で、GPライダーの走りを見せつけて堂々の2位。レイは、清成と組んだ去年の鈴鹿300kmで優勝を挙げている。ハスラムは2002年の日本グランプリ250ccクラスで鈴鹿でのレース経験があり、また、往年のロードレースファンにとっては「ロケット・ロン」ことロン・ハスラム(元世界GPライダー)のジュニアとして親近感が湧くライダーであろう。



2006年の8耐覇者TSRは今年も辻村猛と伊藤真一のコンビで参戦

Honda系のその他のチームでは、2006年の8耐王者である辻村猛と伊藤真一のコンビが今年もF.C.C.TSRから参戦する。また、HARC-PROの小西良輝と安田毅史も有力な組み合わせであるが、安田が全日本ロードレース開幕戦で転倒し第2戦を欠場。この鈴鹿300kmが復帰戦となる予定であり、本来の元気な走りで回復をアピールしてくれることを期待しよう。

全日本ロードレースJSB1000クラスに見る、鈴鹿300kmそして8耐への傾向

“コカ・コーラ ゼロ”鈴鹿8時間耐久ロードレースと、開幕直前に迫った“Road to 8hours”鈴鹿300km耐久ロードレースを占う上で、重要なのが、全日本ロードレースJSB1000クラスの動向だ。

4月6日(日)にツインリンクもてぎで開幕した全日本JSB1000は、5月11日(日)にはシリーズ第2戦・筑波大会を終えた。そして今年は、例年とは違った大きな流れが押し寄せている。そう、主役の座は、Honda CBR1000RRを駆る絶対王者・伊藤真一でもなければ、スズキGSX-R1000を駆る驚速・秋吉耕佑でもなく、ヤマハYZF-R1を駆る中須賀克行が、その座についているのである。

ツインリンクもてぎでの開幕戦を独走で制した中須賀は、筑波では大接戦の末に秋吉を下して開幕2連勝を達成。YSP&PRESTOLレーシングに移籍して3年目の今年、まさに才能が開花した状態で、鈴鹿300kmには単独出走のエントリーとなるが、8耐でのベアライダーが誰になるのか?など、今後の動向が注目される。

また、今年の中須賀は、フル参戦して注目を集めている、ドウカティの最新マシン1098Rを駆る浜口俊之が、8耐参戦を視野に入れて、いよいよ鈴鹿300kmに登場する。全日本第2戦・筑波の段階では、マシンはほぼノーマル状態だったが、照準はもちろん鈴鹿300km、そして、鈴鹿8耐。今後、スペシャルパーツの導入が予定されており、さらにマシン・ポテンシャルは上がっていく方向にあると言う。



ドウカティ1098Rを駆る浜口。鈴鹿300kmにはもちろんエントリーだ



全日本ロードレース第2戦では、#64秋吉を下して開幕2連勝した#21中須賀



全日本ロードレースで絶好調の中須賀克行。鈴鹿300kmでの動向が注目される



次元の違う速さから『宇宙人』とまで呼ばれた秋吉耕佑。今年もその速さは健在

参戦マシンのレギュレーション統一へ前進!! 「Formula EWC」新設!

“Road to 8hours”鈴鹿300km耐久ロードレースを終えると、いよいよ注目は、真夏の祭典・鈴鹿8耐へと移行するわけだが、今年、参戦マシンのレギュレーションが変更された。

昨年は、“コカ・コーラ ゼロ”鈴鹿8耐にのみスポット参戦するチームは、出場マシンはJSB(ジャパン・スーパーバイク)に限定され、一方で、世界耐久選手権にレギュラー参戦するチームは、従来通りのスーパーバイク(SBK)、スーパープロダクション(SPP)、スーパーストック(SST)の3カテゴリーでのエントリーが認められていたため、合計4カテゴリーが混在する状態であった。

そして今年、世界耐久選手権での参加カテゴリーとして、SBKに代わり、SPPをJSBレギュレーションに限りなく近づけた新たな「Formula EWC」が誕生、同時にJSB、SPPはこの「Formula EWC」に吸収された。これは、以前から国際モーターサイクリズム連盟(FIM)と日本モーターサイクルスポーツ協会(MFJ)に対して、鈴鹿サーキットが提案してきたマシン・レギュレーションの世界統一が一步前進した形であり、これにより今年の鈴鹿8耐、そしてその前哨戦である鈴鹿300kmは、「Formula EWC」と「SST」の2カテゴリーでの戦いとなる。なお、SSTは、海外の一部チームのみのエントリーのため、実質は「Formula EWC」クラスに統一されたと言っても過言ではない。(この鈴鹿300kmでは、SSTのエントリーはないため、「Formula EWC」カテゴリーだけの戦いとなる。)

また、現在は、イギリスの「BSB」、アメリカの「AMA」も、日本の「JSB」に近づく方向でマシン・レギュレーションの調整が検討されていることから、今後の鈴鹿8耐は、これまで以上に国際色豊かな、世界に冠たる一大イベントとしての進化・発展への期待が高まっている。



Buellワンメイクレース「Buell Battle Field」& 試乗会 開催決定！ 08年モデル展示などBuellブースも登場。

「“Road to 8hours”鈴鹿300km耐久ロードレース」で、Buellワンメイクレース「Buell Battle Field」(ビューエル・バトルフィールド)の同日開催が決定！Buellのマシンに乗るチャンス＝試乗会や、08年モデル展示などBuellブースも登場します。
※試乗会、ブースは8日(日)のみの開催となります。

Buellとは、ハーレーダビッドソンのエンジン技術を礎とし、さまざまな斬新なアイデアが投入された、他に類をみない特徴を持つバイクブランドです。今回のイベントではBuellが好きな方、Buellに関心がある方はもちろん、「Buellって、どんなバイク？」という方にも、レースを楽しむのと合わせて、ご覧いただけます。

「Buell Battle Field」とはユーザーがその高性能を発揮できるサーキットというフィールドで、Buellを楽しむワンメイクレース。街乗りで使っている愛車でエントリーできる「ストリートクラス」と、改造無制限の「オープンクラス」の2つのクラスが設定されています。鈴鹿サーキットにて、これまでも参加型バイクイベント「FUN&RUN!2-Wheels」で



過去の「Buell Battle Field」走行シーン



展示ブース/試乗会受付の様子
(写真は、FUN&RUN!での開催時のものです。)



Buellニューモデル
「Lightning Super TT XB12STT」

年1回のスケジュールで開催されてきましたが、今年は初めて「“Road to 8hours”鈴鹿300km耐久ロードレース」での同日開催となります。

国際レーシングコース・フルコースおよび、グランプリスクエアを会場として、様々な周辺イベントも行なわれるスペシャルなプログラムとして開催されます。

最新イベント情報！

“コカ・コーラ ゼロ” 鈴鹿8耐参戦発表会を一般公開で開催！ (混雑状況により入場制限の場合あり)



昨年の発表会の様子

“コカ・コーラ ゼロ”鈴鹿8耐の前哨戦でもある“Road to 8hours”鈴鹿300km耐久ロードレース。決勝日の8日(日)には、“コカ・コーラ ゼロ”鈴鹿8耐の参戦発表会を開催する。この参戦発表会は、公式な記者発表会として行われるが、パドックパスを持っている方ならば、その会場に入って観覧することが可能。

いち早く、「コカ・コーラ ゼロ」カラーに彩られたステージでの、8耐エントリーライダーの熱いコメントや、8耐に向けての意気込みを、「生の声」で聞けるチャンスだ。

■開催日時:6月8日(日) 昼のインターバルの時間に開催予定(詳細な時間は調整中です。)

■開催場所:ピット上ホスピタリティブース 特設会場

※ご覧になるにはパドックパスが必要です。

※お客様が多数で場内混雑の場合には、入場を制限させていただく場合がございます。あらかじめご了承ください。

最新チケット情報！

Hondaオリジナル特典付き前売り観戦券 5月26日(月)より発売開始！

東海・近畿地区の取扱店で、大判スペシャルHonda応援フラッグなどのオリジナル特典付き前売り券を5月26日(月)より発売！さらに抽選でチームスタッフやメカニックが愛用している「Honda Racingプレミアムポーチ」が当たる！

Hondaオリジナル特典付き前売り観戦券
土・日の2日間有効

大人

3,000円

※応援フラッグはチケット購入者限定の特典です。

※応援フラッグは会場内Hondaブースにてお渡しいたします。

※抽選会の詳細は決勝レース当日、Hondaイベントブースにてご確認ください。

※抽選会へのご参加はHondaオリジナルチケットをお求めの方に限らせていただきます。

★Hondaウェブサイトのバイクイベントガイドのページにて、チケット取扱店や詳細をご覧ください

[価格は全て税込]

前売り観戦券 土・日の2日間有効		
大人	ペア(大人2名)	中・高校生
3,000円(観戦のみ)	5,500円(観戦のみ)	1,600円(観戦のみ)

※ペアチケットは前売りのみの発売で、2名セットとなります。

前売り指定席券 決勝日のみ有効/別途観戦券必要	
V席	2,000円

※指定席券は決勝日のみ有効です。

※V指定席券をお持ちの方は、VIPテラスへの入場ができます。

※V席をご利用の場合、3歳以上共通料金となります。

※VIPテラスのご利用は、V席指定席側から入退場をお願いします。

(VIPスイートにあるエレベーターはご利用いただけません。)

VIPスイート・プレミアム (パーソナル販売から名称が変わりました。)
23,000円

※観戦席は全席指定席となります。

※3歳以上有料(飲料・食事・特典は大人同様となります。)

※駐車券は、4名様までのお申し込みにつき、1台分となります。

※パドックアクセスは、パドックパス同様の特典でお楽しみいただけます。

※VIPスイートは数に限りがございます。完売の際はご了承ください。

※お申込み後のキャンセルは一切できません。

※指定席(1列目、2列目、3列目、4列目)のご希望がございましたら、お聞かせください。尚、必ずしもご希望通りにならない場合もございます。あらかじめご了承ください。

ピットウォーク券		
	大人(中学生以上)	子ども
土曜日	1,200円	無料
日曜日	1,200円	無料

※開催当日現地にて販売となります。前売り販売はございません。

※ピットウォーク時の、脚立のお持込はご遠慮ください。

※小学生以下は無料です。

■ご案内:

※本レースは、ゆうえんちモトピアパスポートでご観戦いただけます。ゆうえんちの乗りものも、レースも思う存分お楽しみください。

※レース観戦券をお持ちのお客様がモトピアパスポートをご希望の場合は、観戦券の提示で割引料金にてご購入いただけます。

★観戦券提示のモトピアパスポート割引料金:【大人~小学生 2,700円、幼児(3歳~未就学児) 1,400円】

観戦チケットの購入は、もてぎのチケット・グッズが同時に買えるオンラインチケットショップ「MOBILITY STATION」へ! 詳しくは <http://mls.mobilityland.co.jp/> にアクセス!

チケットのお求めは	券種によってお取り扱いのない窓口もございます
■鈴鹿サーキットレースチケットセンター	6月7日(土)まで(販売時間 10:00~17:00)
■鈴鹿サーキット電話通信販売 ☎059-378-1100(通販専用)	6月1日(日)まで(販売時間 10:00~16:00)
■MOBILITY STATION http://mls.mobilityland.co.jp/	6月2日(月)9:00まで(24時間受付)

6月7日(土)まで (一部販売期間が異なる店舗がございます。)

- 電子チケットぴあ ●CN プレイガイド ●ローソンチケット ●イープラス
- セブン-イレブン ●ローソン ●ファミリーマート ●サークルK・サンクス ●am/pm

※コンビニには時間帯に制約があります。※販売店によって、一部取り扱いのない券種があります。

チケットに関するお問い合わせ: 鈴鹿サーキットレースチケットセンター ☎059-378-1111(代)

当日観戦券		
	大人	中・高校生
土曜日	ゆうえんち入園料	
日曜日	3,500円	ゆうえんち入園料

※3歳~高校生の方の当日券はゆうえんち入園料となります。

中・高校生:1,600円/小学生:800円/3歳~未就学児:600円

当日指定席券 決勝日のみ有効/別途観戦券必要	
V席	2,500円

※指定席券は決勝日のみ有効です。

※V指定席券をお持ちの方は、VIPテラスへの入場ができます。

※VIPテラスのご利用は、V席指定席側から入退場をお願いします。

(VIPスイートにあるエレベーターはご利用いただけません。)

※前売指定席券完売の場合、当日指定席券は、販売いたしません。

お早めにお求めください。

パドックパス 土・日の2日間有効 / 別途観戦券必要	
大人(中学生以上)	子ども(3歳~小学生)
4,000円	無料

※パドックパスのご購入には観戦券が別途必要です。

※パドックパスは、鈴鹿サーキットロゴ入りストラップがセットになった特製プラスチックパドックパス(枚数限定)です。

●パドックパスのカードフェイスは、公式ポスターをイメージしたデザイン。

●鈴鹿サーキットオリジナルストラップ(非売品)つき。

●パドックパスのそれぞれにシリアルナンバーがついています。

※パドックパスをご購入いただいたお客様は、ホスピタリティブース、激感エリアへのご入場、ピットウォークもお楽しみいただけます。

★パドックパス購入者限定で「グリッドパス」を販売!

パドックパス購入者限定 グリッドパス
2,000円

※決勝日当日現地にて販売いたします。

※販売枚数限定となります。